

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、新型コロナウイルス感染症への警戒を常に意識しなければならないという、かつて経験したことのない環境下での中学校最後の一年となりました。そのような中で、日頃の学習の成果を存分に発揮し、高校入試という高い壁を突破され、本日、この伝統ある金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校の入学を許可された皆さんに、最大の敬意を表します。そして、愛情をもってその努力を支えてこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

残念なことに、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、今年度も当面はコロナ禍での学校生活が継続することになります。しかし、未知の課題に直面している今だからこそ、知を磨き、未来への歩みを進めて欲しいと思っています。状況に適応しながら勉学・部活動・学校行事等に精一杯取り組み、充実した高校生活を送ってください。

附属高校での生活を始めるにあたり、新入生の皆さんに、三つのことを求めます。まず第一に、金沢大学附属高校の生徒であるということに自信と誇りをもっていただきたい。本校は、昭和二十二年の創立以来、七十有余年の輝かしい歩みを続け、数多くの有為な人材を輩出してきた学校です。皆さんの入学を心待ちにしていた在校生も、附属高校の生徒であることに自信と誇りをもてるよう、日々、自分磨きに励んでいます。

その上で二つ目は、本校の伝統的校風「自主自律」の精神を大切にしていきたい。十八歳選挙権は既に施行されています。それに加えて、皆さんが本校在学中には、成人年齢の引き下げが行われる予定です。このように時代の大きな転換点だからこそ、さまざまなことに自主的に取り組み、社会に貢献できる行動力を身に付け、自らの行動に責任をもつことができるグローバルな人材になるという強い信念をもってください。

三つ目は、良きライバルを見つけ、切磋琢磨し、「ひとつ上の自分」を求め続けていただきたい。本校は「昭和の松下村塾」を標榜し創設されました。この精神は今でも受け継がれています。ライバルのスピードについていけず焦りだけが先行したり、壁にぶつかり逃げたくなってしまうこともあると思います。そのような時は、様々な面で高い能力をもった人材が集まる、この附属高校に入学したからこそ、味わえる経験だと考え、努力を続けてください。「生徒が生徒を育て、生徒が学校をつくる」そのような気概をもってください。

附属高校の先生方は、生徒と真剣に向き合い、共に歩もうという決意と情熱を秘めた先生方です。学習指導は勿論、進路指導や部活動指導にも全力で取り組みます。先生方と共に「令和の松下村塾」をつくり上げましょう。

最後になりますが、保護者の皆様、改めまして、お子様のご入学、誠におめでとうございます。私は、自分が勤務する学校は、多くの中学生が入学したいという思いと、憧れをもつ学校。そして、保護者の皆様が進学させたいと望まれる学校にしたいと強く思っております。お子様が充実した高校生活を送り、自分の将来に向け高い志を抱けるよう、職員一同、お子様の成長を全力でサポートしてまいります。本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りま

すよう、お願い申し上げます、式辞といたします。

令和三年四月八日

金沢大学人間社会学域学校教育学類

附属高等学校長 中澤 宏一